

# 相談室便り 7月号

生徒の皆さんへ

令和3年7月  
堀江中学校 相談室

## 「勉強はキライですか？」

勉強が大好きだと言う人は、中学生では少数派かもしれません。ほとんどの生徒は義務感で仕方なく勉強をしているか、もしくは「何のため？」とずっと疑問を持ちながら納得できずに過ごしているかと思います。これを書いている私自身も中学生の頃は、繰り返しやってくる定期テストのためにしびしび机に向かっていただけのような気がします。ですから「勉強がキライ」と言う人の気持ちは100%理解できます。

さて、これは持論ですが、私は高校生のかたに「何のために勉強する(しなければならない)のか？」の疑問に、ある答えを出しました。それは「忍耐力をつけるため」でした。高校生のかた私は自分の人生に物理の勉強は不要だと心底感じましたが、学校では物理の授業がありました。定期テストもあります。逃げることはできません。その状況から導き出した答えが「物理の勉強は忍耐力をつけるため」でした。テンションの上まらない勉強の目的を「忍耐力の強化」にしたのです。おとなになった今、物理の授業内容は何一つ頭の中に残っていませんが、忍耐力は役に立っています。

もう一つ持論ですが、「勉強はあなた自身を助ける」ということです。助けるとはどういう意味でしょうか。それは、役に立つ、有益が生まれるということです。一つの仕組みを理解したり、関連する事柄を知ったり、それを他者に伝えたりする力が養われるという意味です。学校での教科学習は、将来自分の脳を柔軟に働かせるためのウォーミングアップと考えても良いかもしれません。脳ミソを動かしていきましょう。

もうすぐ夏休みです。気分を変えて少し前向きなウォーミングアップはいかがでしょう。勉強は将来のあなたを助けてくれる強力なアイテムなのでから！

